

# 最近の消費・輸入動向等について

《 目 次 》

- 1. 家計における購入、支出動向等
  - (1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入 . . . . . P. 1～4
  - (2) 野菜の摂取量 . . . . . P. 5
- 2. 小売の販売動向
  - (1) チェーンストア . . . . . P. 6
  - (2) スーパーマーケット . . . . . P. 7
  - (3) 品目別小売・卸売価格 . . . . . P. 8～10
- 3. 輸入の動向 . . . . . P. 11～13
- 4. 平成28年産夏秋野菜主要品目の主産県別生産・出荷等 . . . . . P. 14～15
- 5. 今後の気象予報 . . . . . P. 16～17

## 1. 家計における購入、支出動向等

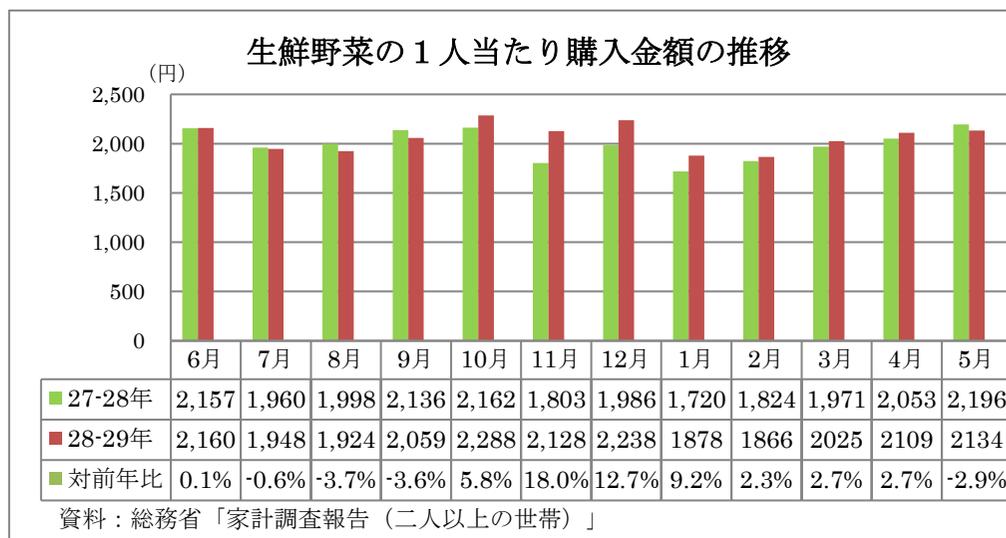
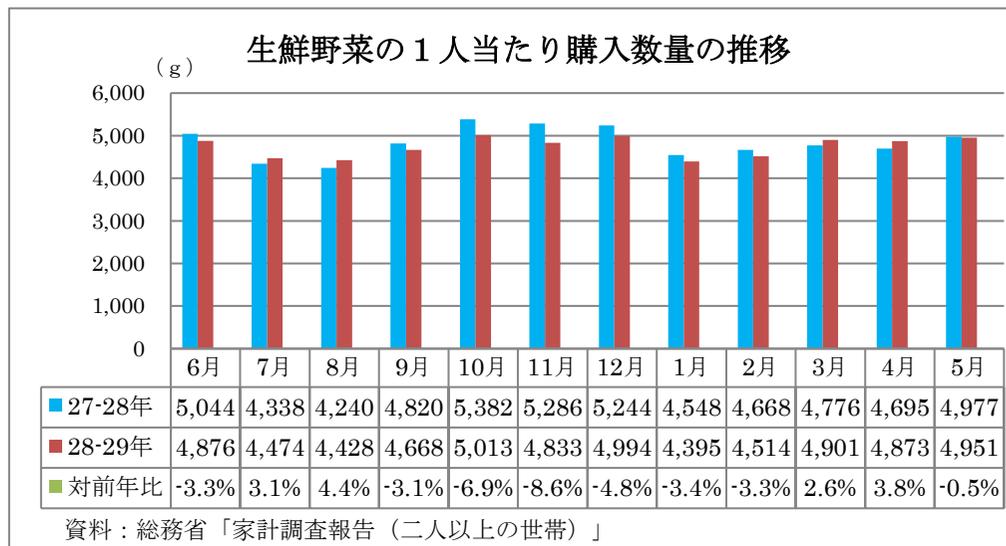
### (1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入

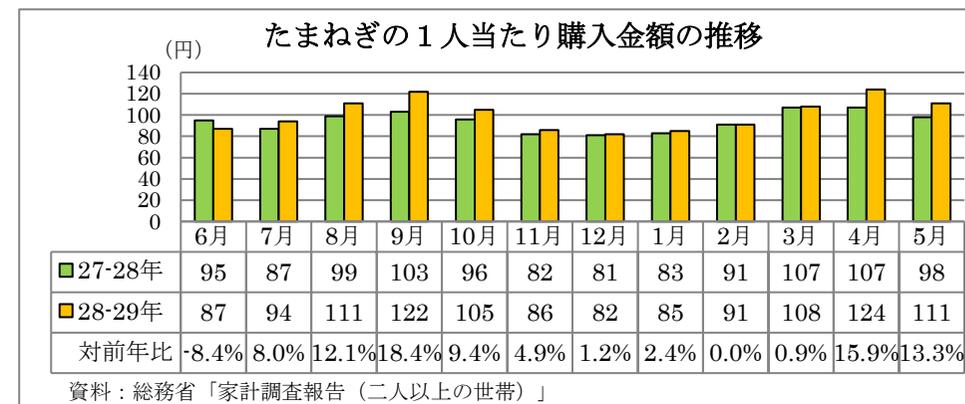
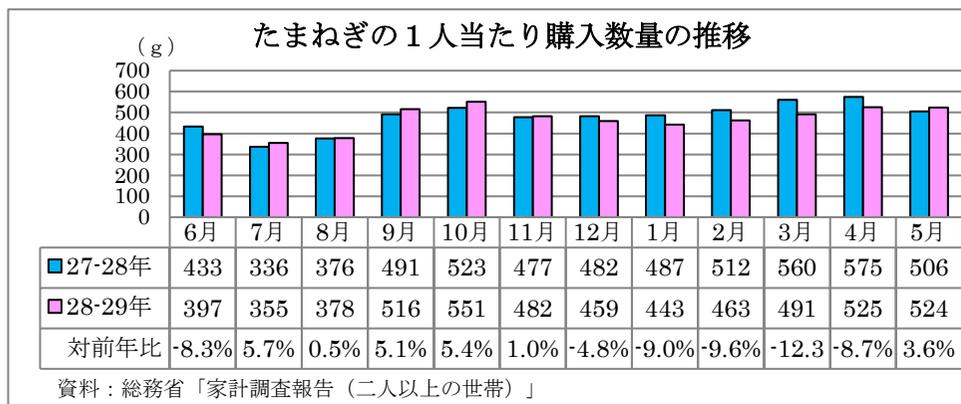
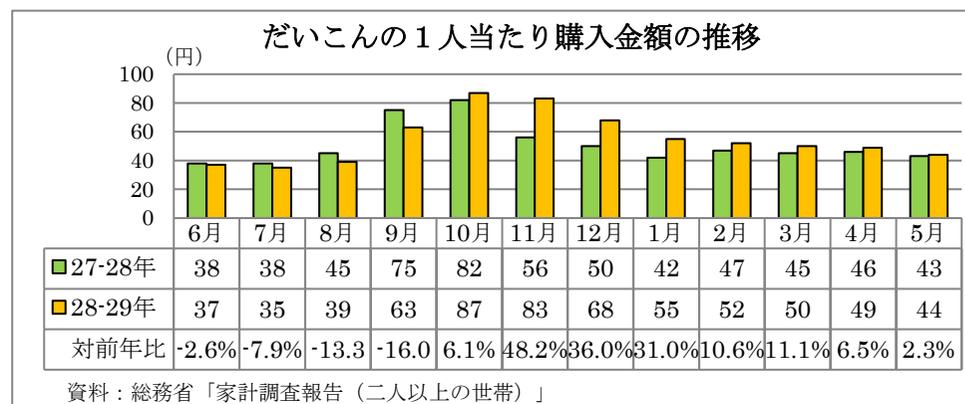
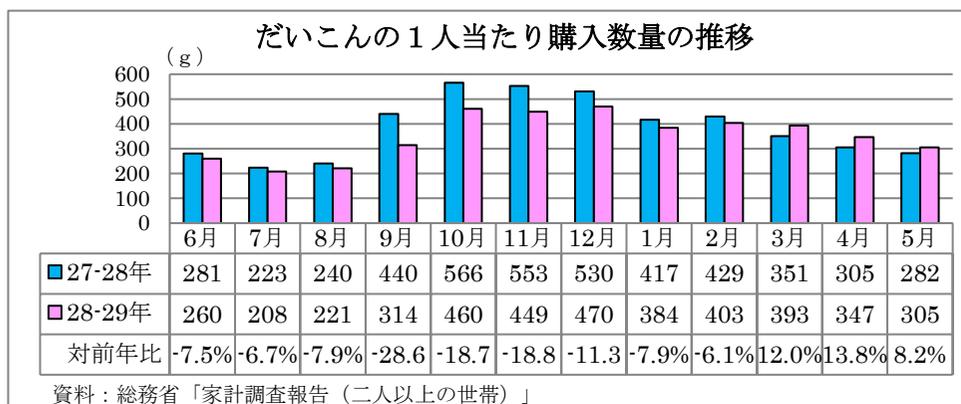
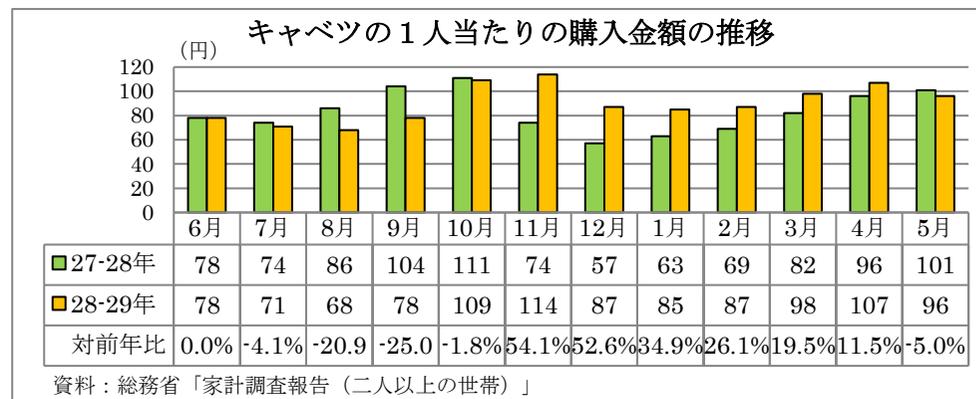
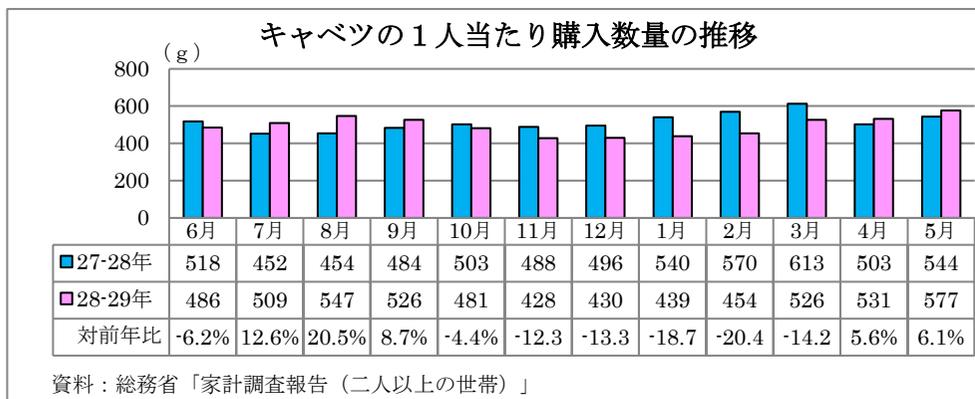
#### <購入数量>

- 生鮮野菜の1人当たりの購入数量は、6月は、たまねぎのべト病の発生などにより出荷数量が減少し、高値となったことから、前年を下回ったが、7月、8月は、キャベツ等の生育が順調で出荷数量が増加し、安値となったことから、前年を上回った。
- 9月は、相次ぐ台風の襲来で、加熱調理向きのだいこん、にんじん等の出荷数量が減少して高値となったことから、前年を下回った。
- 10月から2月は、長雨・日照不足等により出荷数量が減少し高値となったことから、前年を下回った。
- 3月及び4月は、キャベツ等の価格が低温及び干ばつの影響で高値となったものの、3月は気温の低下により鍋物需要が高まったこと、4月は気温の上昇によりサラダ関連商材の需要が高まったこと等から、前年を上回った。

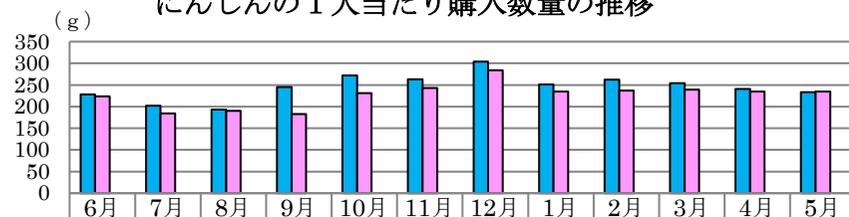
#### <購入金額>

- 生鮮野菜の1人当たりの購入金額は、8月、9月及び5月は、キャベツ等の出荷が順調で、価格が前年に比べかなり低下したことなどから、前年を下回った。
- 10月～2月は、主要野菜の価格が長雨・日照不足等による品薄感から総じて高値となったことから、前年を上回った。
- 3月及び4月は、キャベツ等が低温等の影響で高値となったことから、前年を上回った。





にんじんの1人当たり購入数量の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■27-28年	228	202	193	245	272	263	304	251	262	254	241	233
■28-29年	224	184	190	183	231	243	284	235	237	239	235	235
■対前年比	-1.8%	-8.9%	-1.6%	-25.3	-15.1	-7.6%	-6.6%	-6.4%	-9.5%	-5.9%	-2.5%	0.9%

資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

にんじんの1人当たり購入金額の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■27-28年	73	61	67	74	75	68	77	61	62	64	67	78
■28-29年	67	58	65	83	110	99	95	72	69	76	79	73
■対前年比	-8.2%	-4.9%	-3.0%	12.2%	46.7%	45.6%	23.4%	18.0%	11.3%	18.8%	17.9%	-6.4%

資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

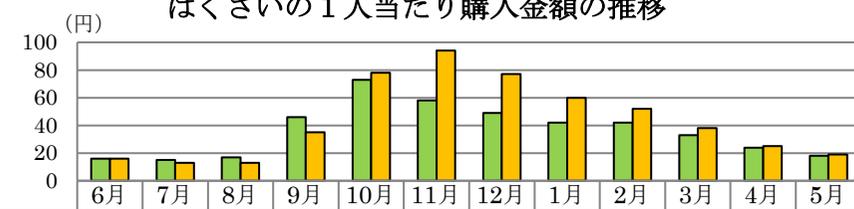
はくさいの1人当たり購入数量の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■27-28年	65	75	61	184	388	469	498	379	325	179	101	81
■28-29年	77	77	81	184	319	422	451	336	297	181	89	86
■対前年比	18.5%	2.7%	32.8%	0.0%	-17.8	-10.0	-9.4%	-11.3	-8.6%	1.1%	-11.9	6.2%

資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

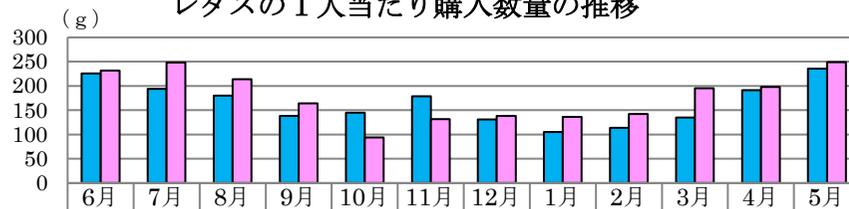
はくさいの1人当たり購入金額の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■27-28年	16	15	17	46	73	58	49	42	42	33	24	18
■28-29年	16	13	13	35	78	94	77	60	52	38	25	19
■対前年比	0.0%	-13.3	-23.5	-23.9	6.8%	62.1%	57.1%	42.9%	23.8%	15.2%	4.2%	5.6%

資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

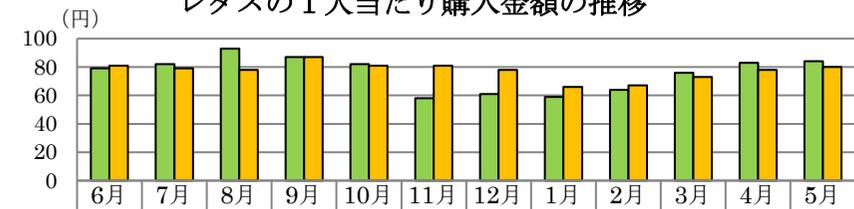
レタスの1人当たり購入数量の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■27-28年	226	194	180	138	145	179	131	105	114	135	191	236
■28-29年	232	248	214	164	94	132	138	136	142	195	198	249
■対前年比	2.7%	27.8%	18.9%	18.8%	-35.2	-26.3	5.3%	29.5%	24.6%	44.4%	3.7%	5.5%

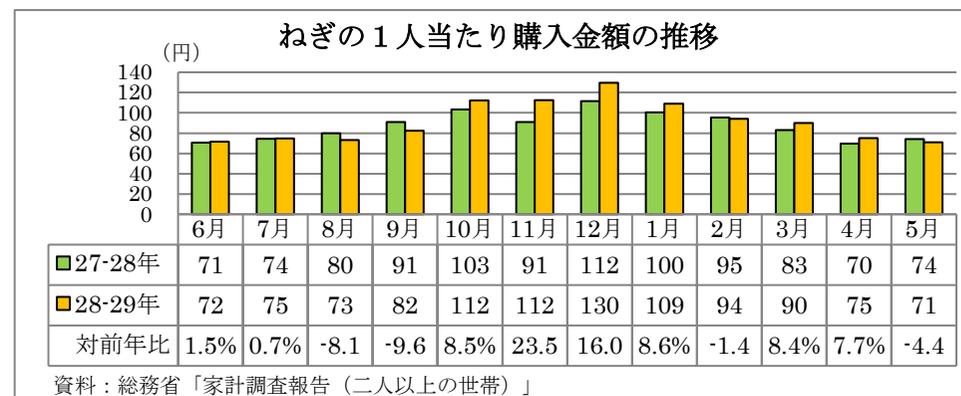
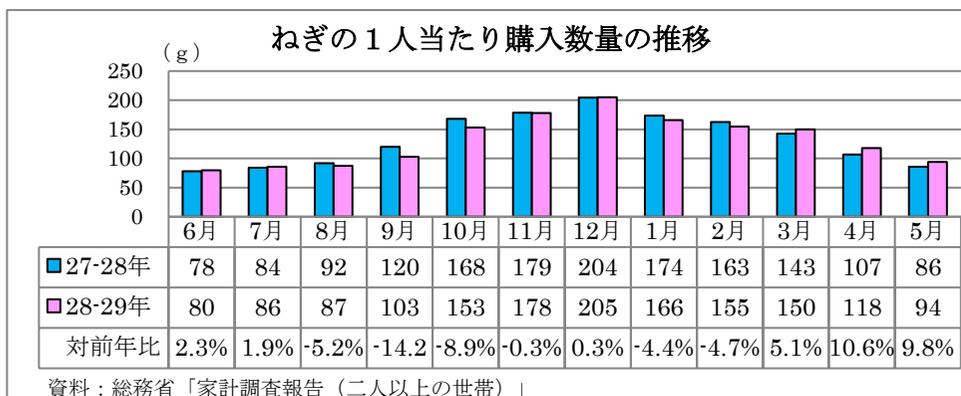
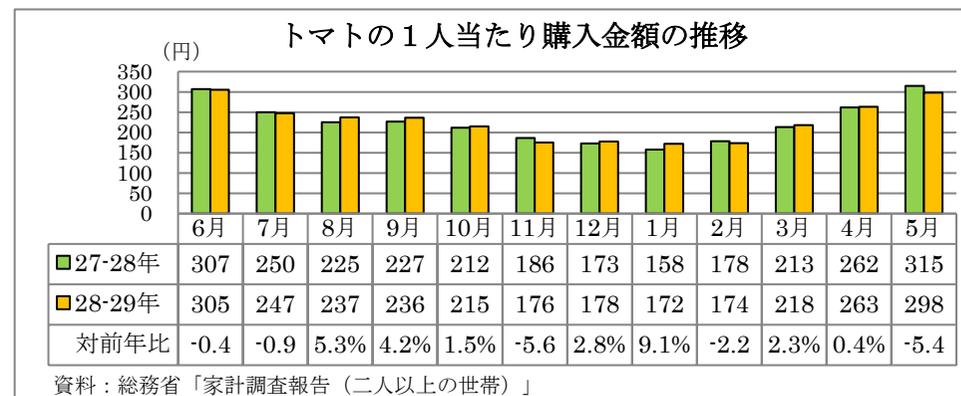
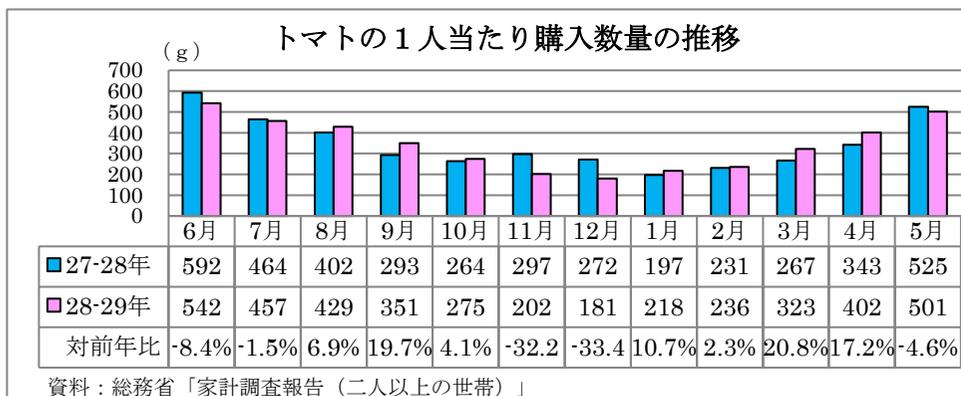
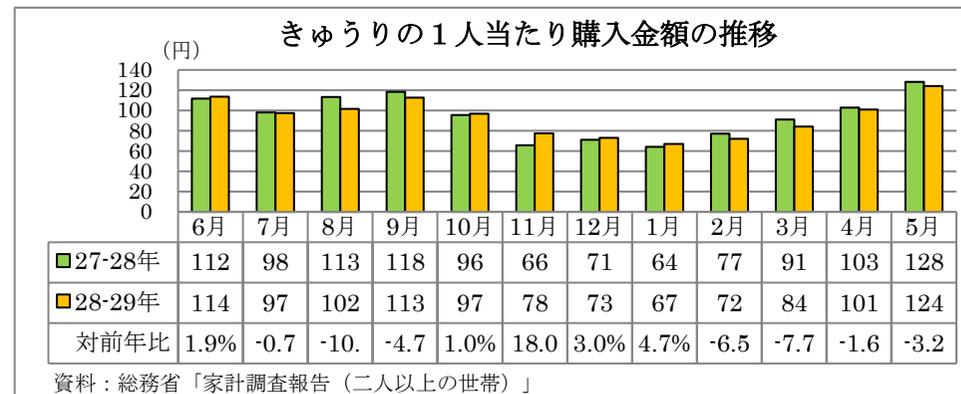
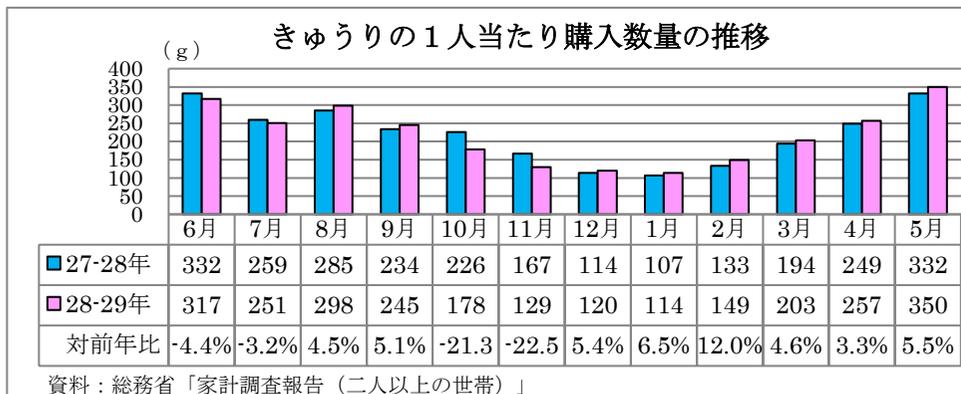
資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

レタスの1人当たり購入金額の推移



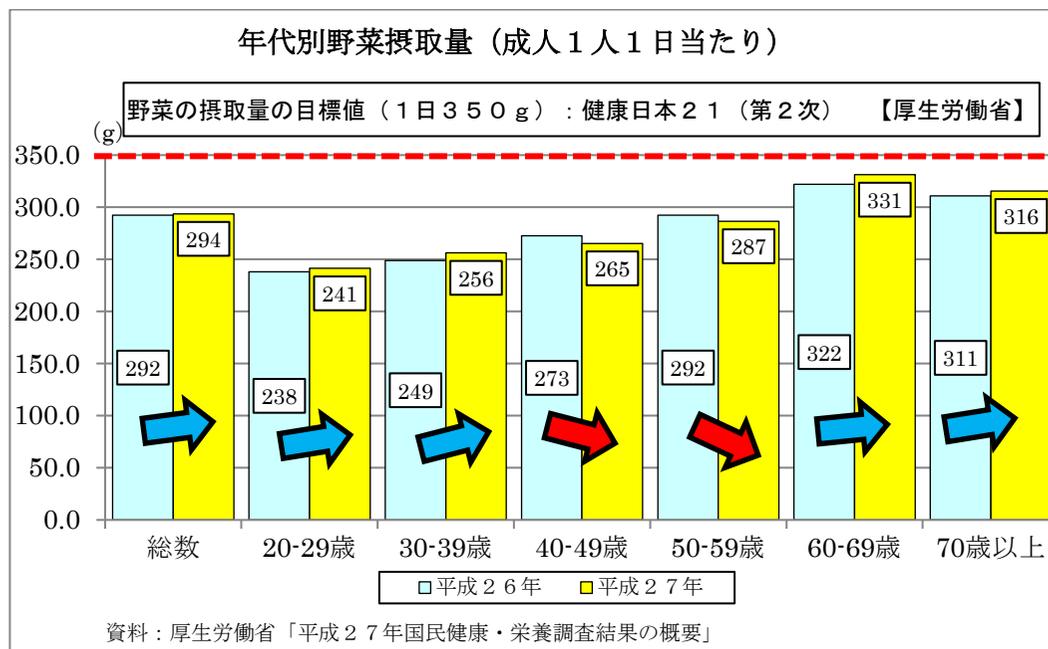
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■27-28年	79	82	93	87	82	58	61	59	64	76	83	84
■28-29年	81	79	78	87	81	81	78	66	67	73	78	80
■対前年比	2.5%	-3.7	-16.	0.0%	-1.2	39.7	27.9	11.9	4.7%	-3.9	-6.0	-4.8

資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

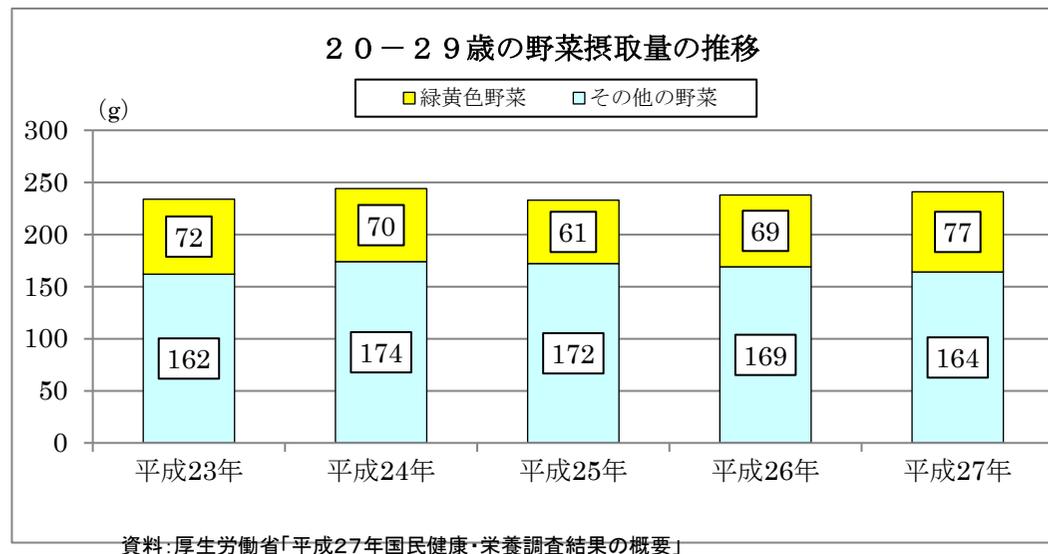


## (2) 野菜の摂取量

- 平成27年の成人1人1日当たりの野菜摂取量は、前年比べて増加し、総数は294グラム（前年比101%）となったが、依然として、全ての年代で健康日本21（第2次）で示された野菜の摂取量の目標値（1日350g）を下回っている。また、これまでと同様に20代が一番低い水準となっている。



- 野菜摂取量が最も少ない20代の過去5年間の推移を見ると、ほぼ横ばいとなっている。緑黄色野菜とその他の野菜別に見ると、その他の野菜が減少（前年3.0%減）したものの、緑黄色野菜が増加（前年11.6%増）して、全体ではわずかに増加（前年比1.3%増）となった。



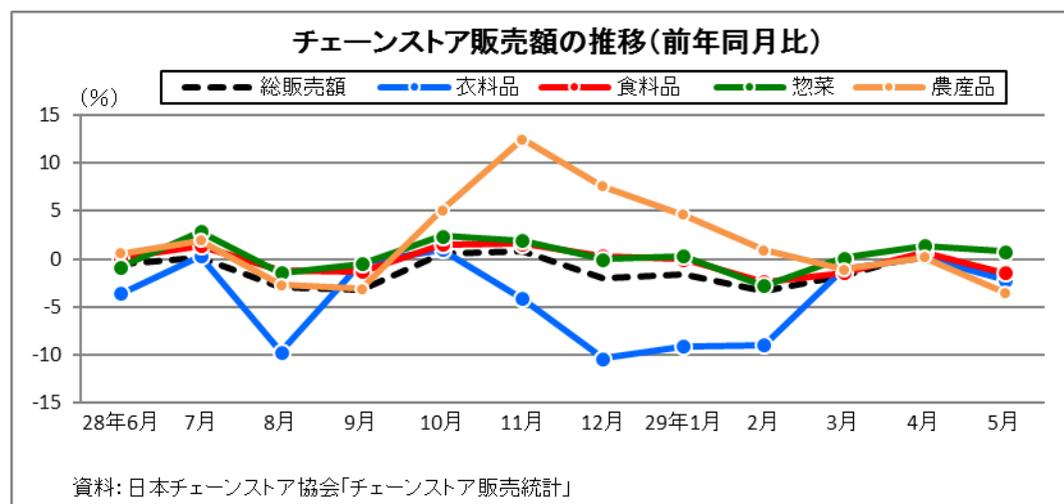
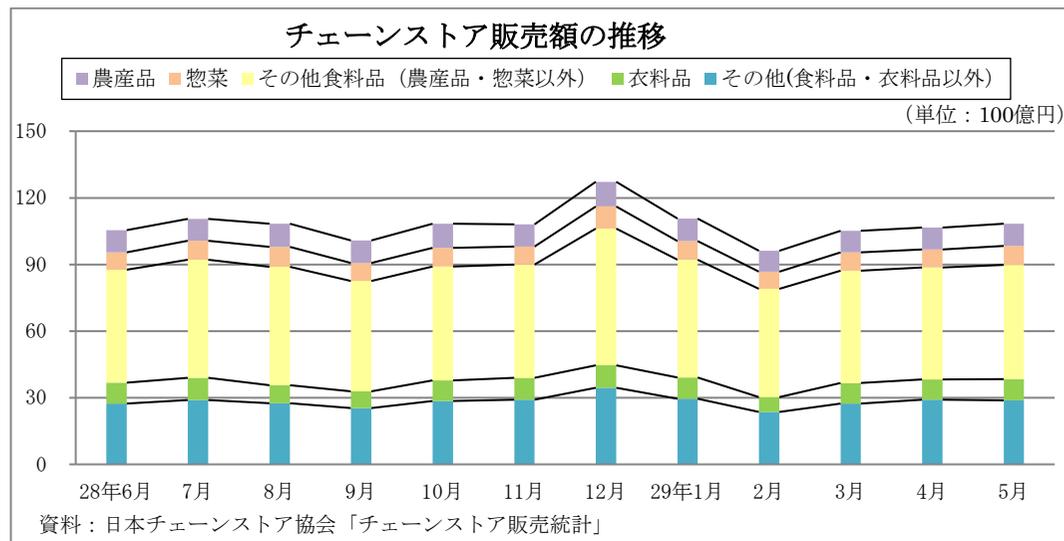
## 2. 小売の販売動向（平成28年6月～平成29年5月）

### （1）チェーンストア

○ 総販売額の最高額は12月の1兆2,722億円、最低額は2月の9,616億円であった。  
前年同月比の動向は、8月及び9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少、12月から3月までは衣料品の販売の不調、5月は農産品の相場安の影響により、それぞれ前年を下回った。

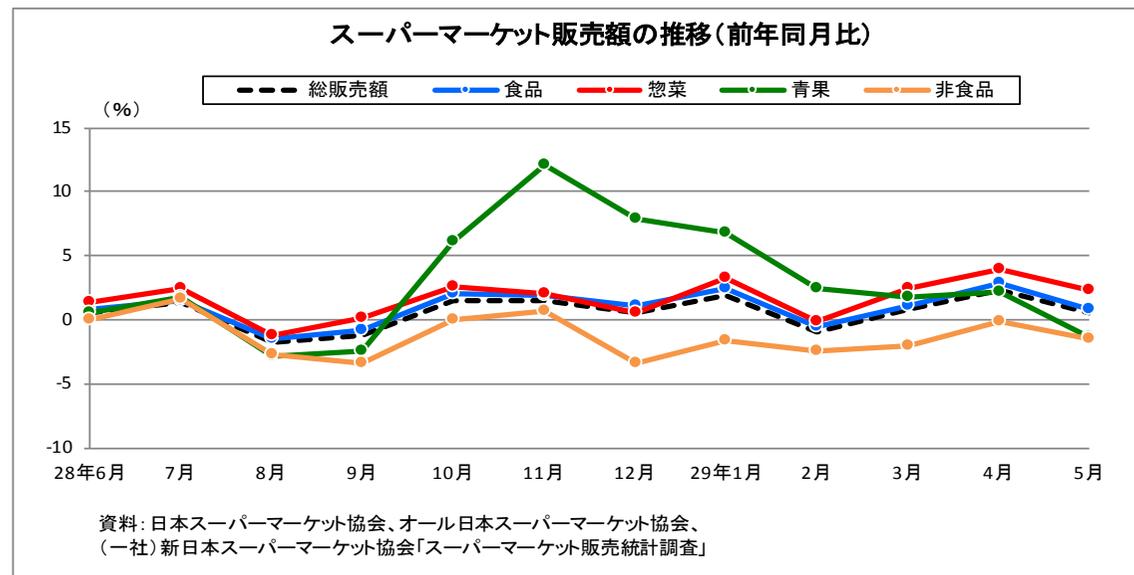
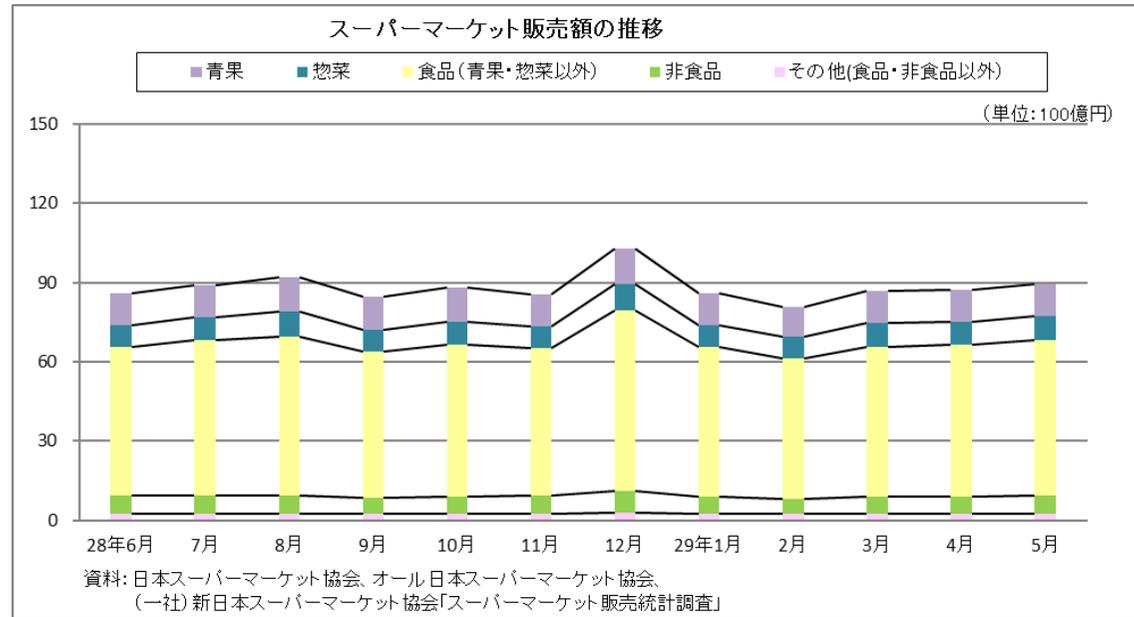
○ 農産品の販売額の最高額は12月の1,113億円、最低額は2月の941億円であった。  
8月及び9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少により前年を下回った。10月から2月にかけては長雨・日照不足等による相場高で前年を上回った。  
5月は相場安の影響で前年を下回った。

○ 惣菜の最高額は12月の995億円、最低額は2月の774億円であった。  
前年同月比の動向は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりで消費者に支持され、6月、8月、9月、2月を除いて前年を上回った。6月は和惣菜の動きが鈍く、8月及び9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少、2月は前年が閏年であったため、それぞれ前年を下回った。

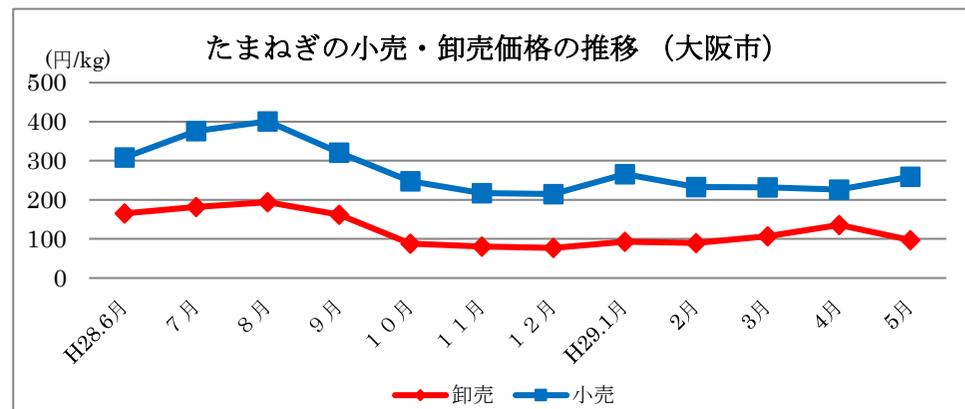
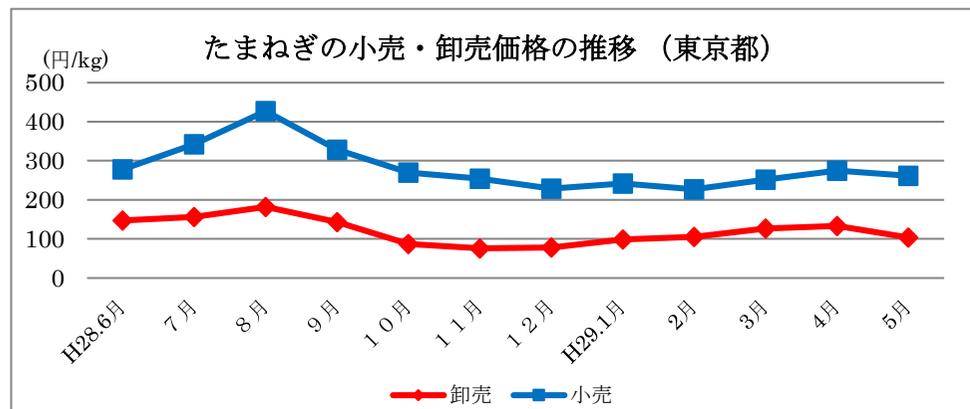
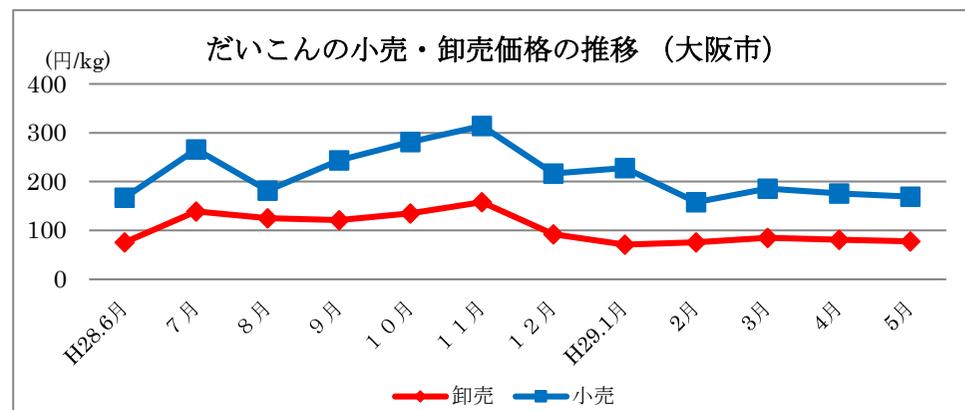
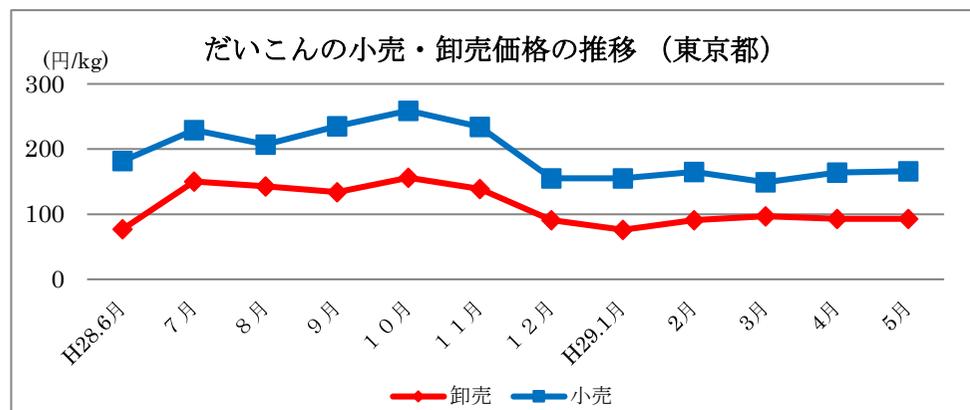
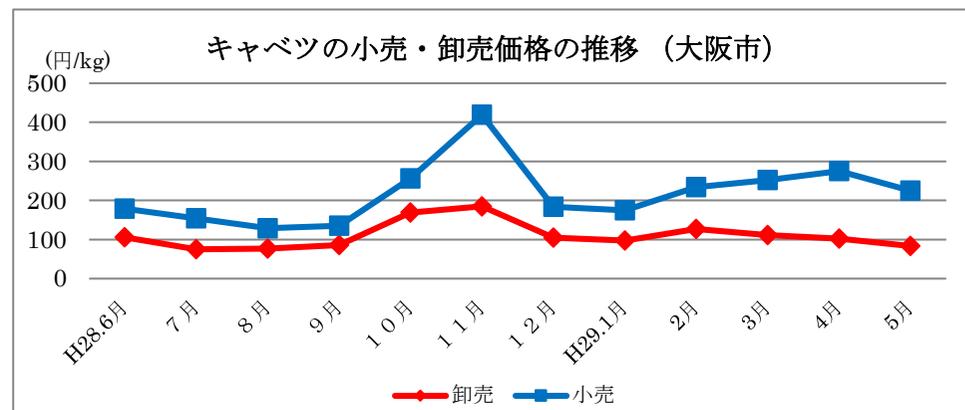
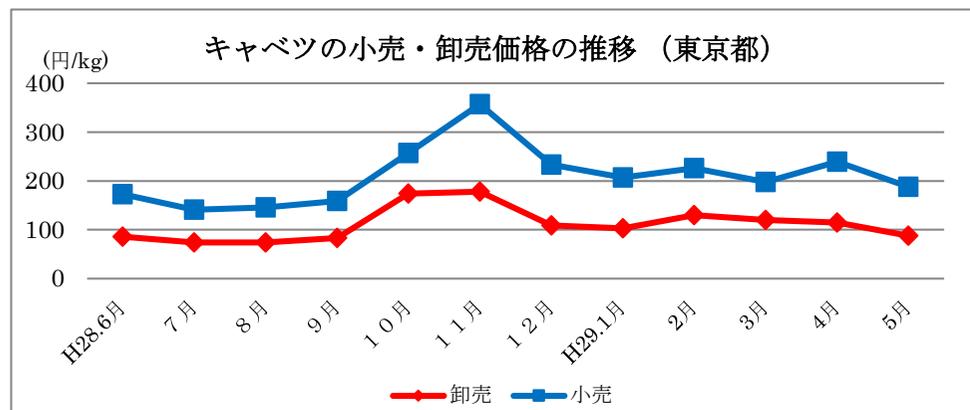


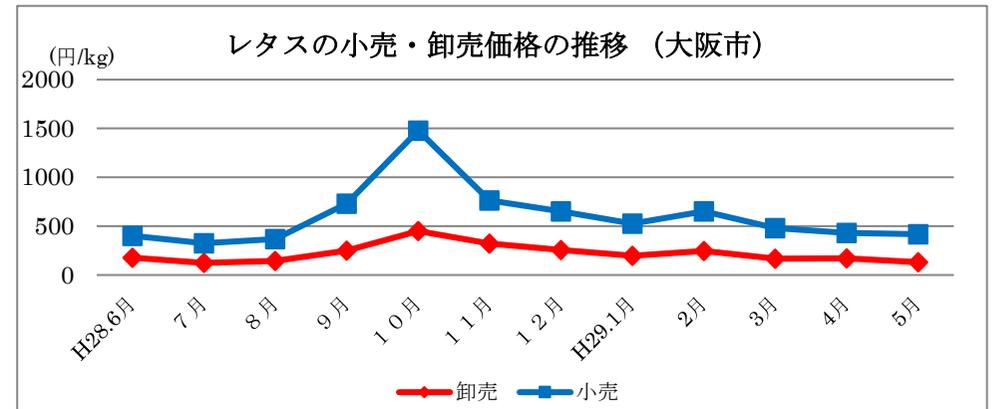
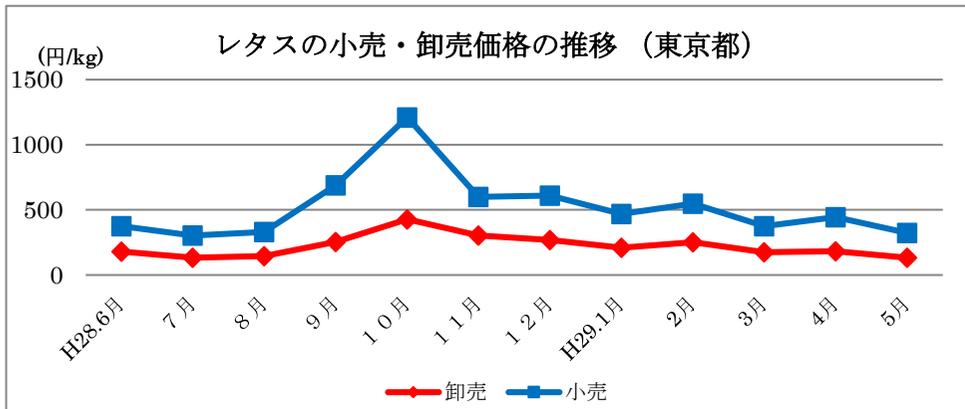
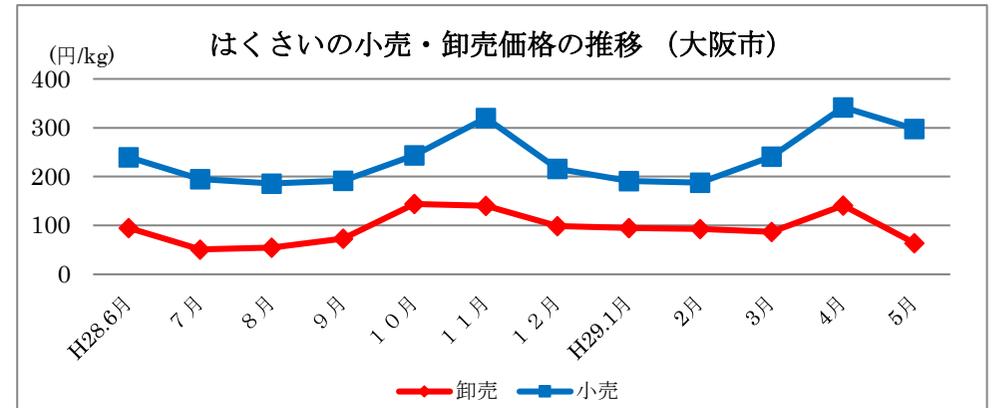
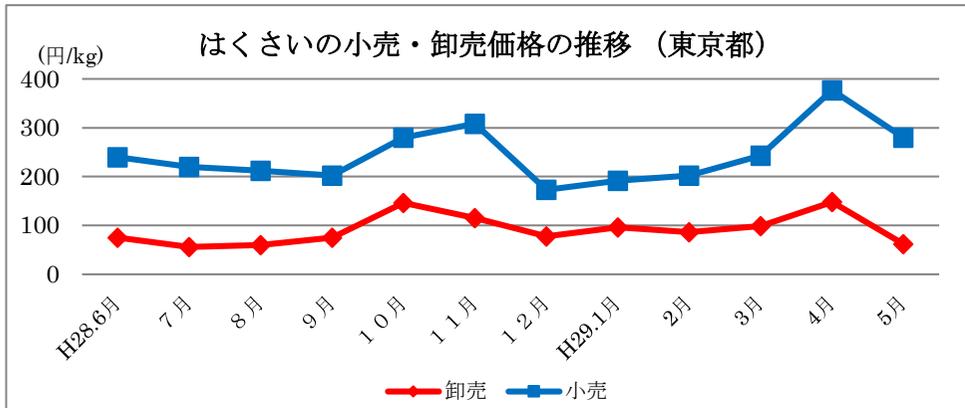
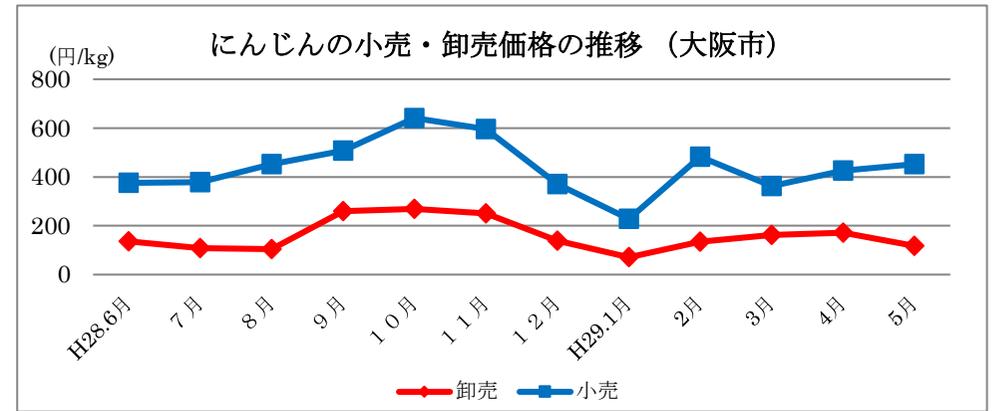
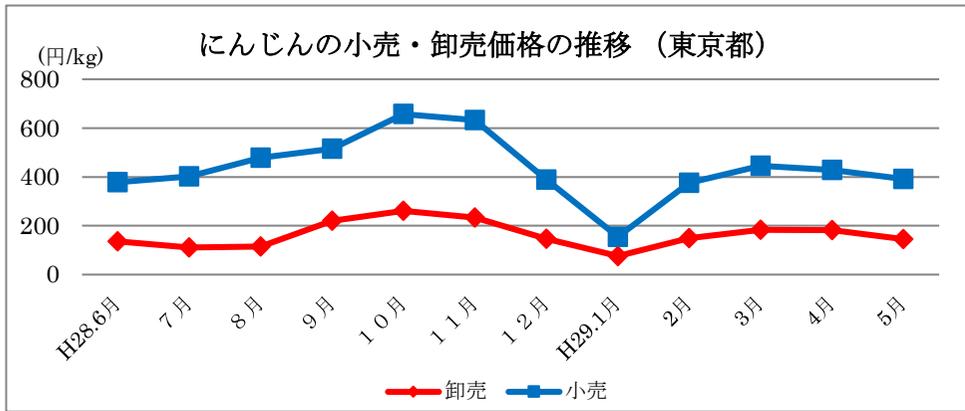
(2) スーパーマーケット（平成28年6月～平成29年5月）

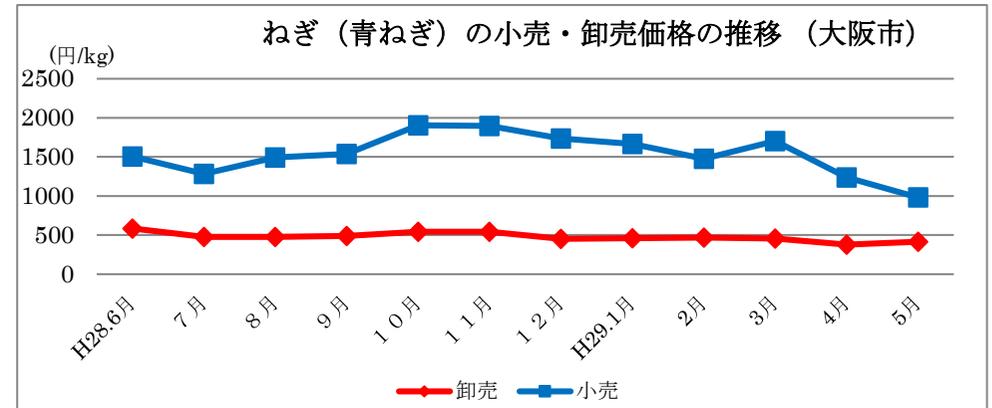
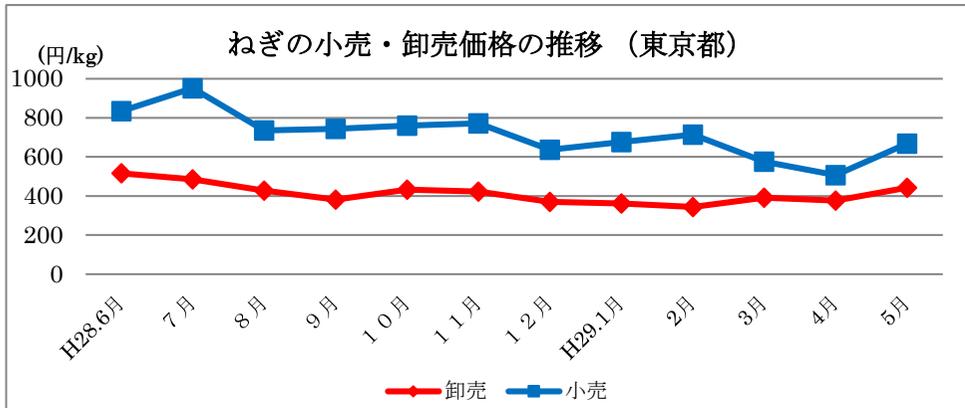
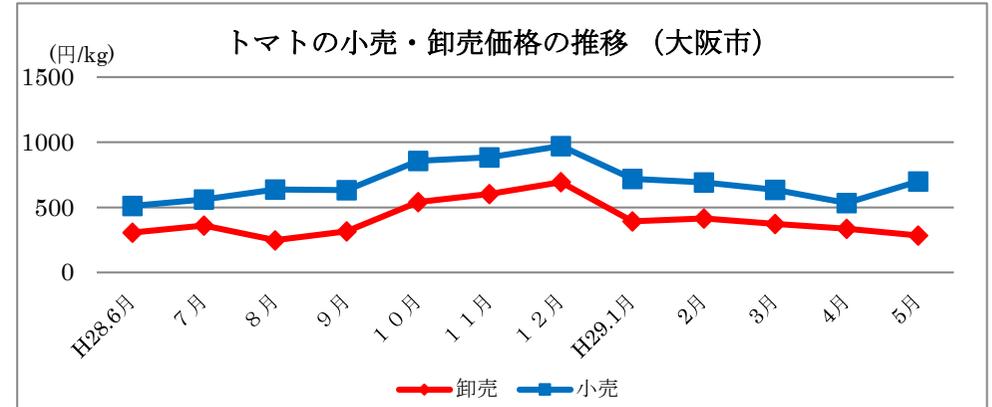
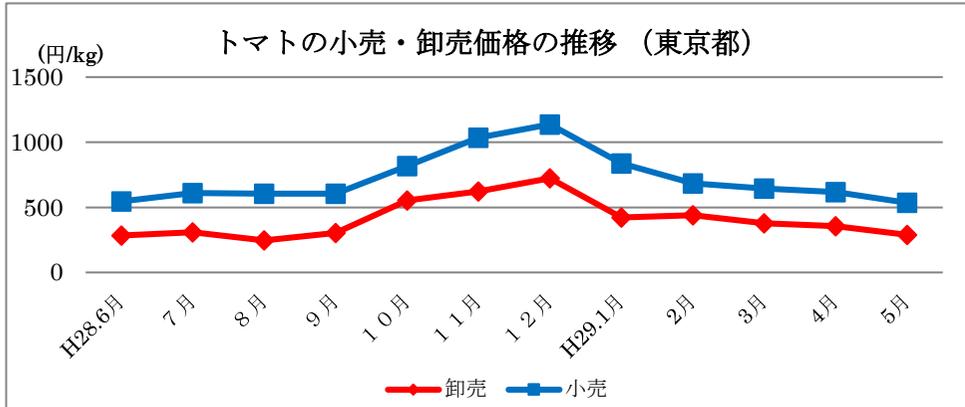
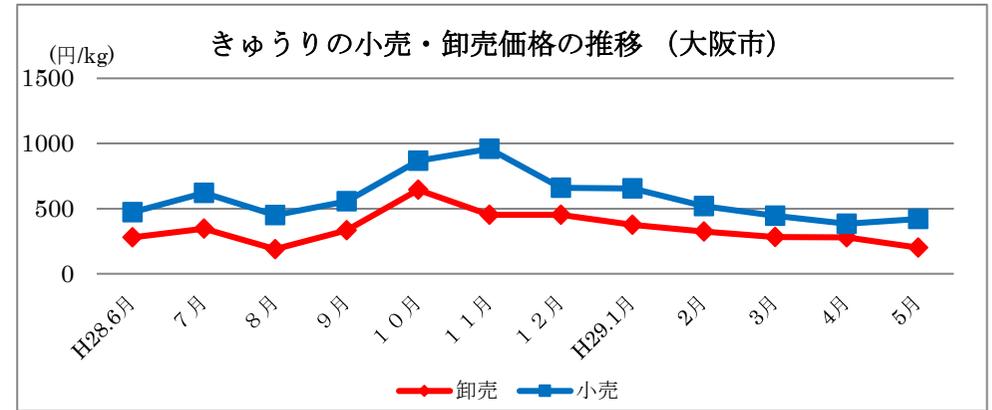
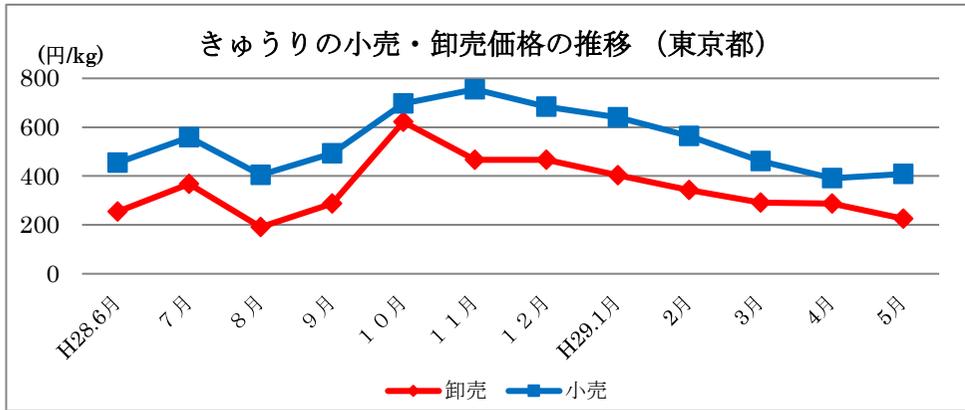
- 総販売額の最高額は12月の1兆294億円、最低額は2月の8,092億円であった。  
前年同月比の動向は、8月及び9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少から前年を下回ったものの、10月から1月は長雨・日照不足等による青果の相場高により前年を上回った。2月は閏年であった前年を下回り、4月は前年より日曜日が1日多い曜日回りであったことなどから前年を上回った。
- 青果の最高額は12月の1,358億円、最低額は2月の1,149億円であった。  
前年同月比の動向は、8月及び9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少から前年を下回り、10月から2月は長雨・日照不足等による相場高で前年を上回った。5月は相場安の影響で前年を下回った。
- 惣菜の最高額は12月の1,007億円、最低額は2月の816億円であった。  
前年同月比の動向は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりを背景に消費者から支持され、8月と2月を除いて前年を上回った。8月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少、2月は前年が閏年であったことから、それぞれ前年を下回った。



### (3) 品目別小売・卸売価格





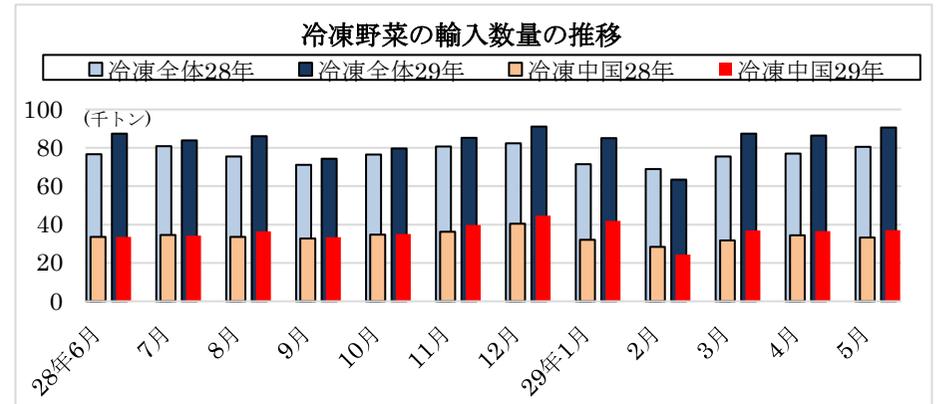
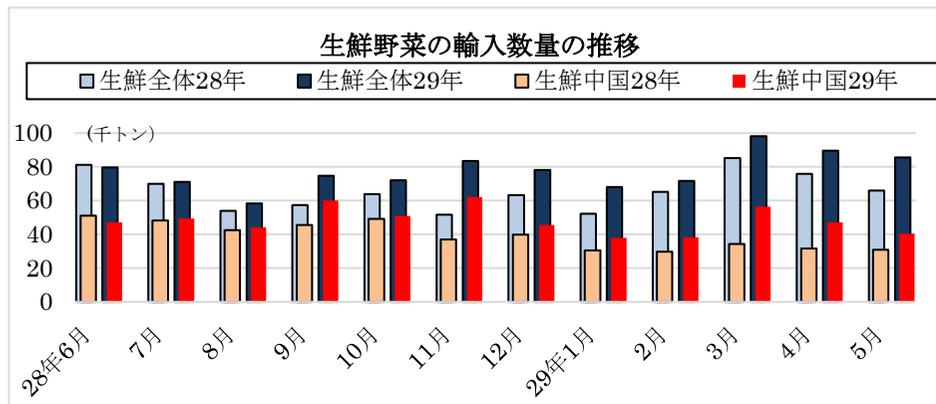
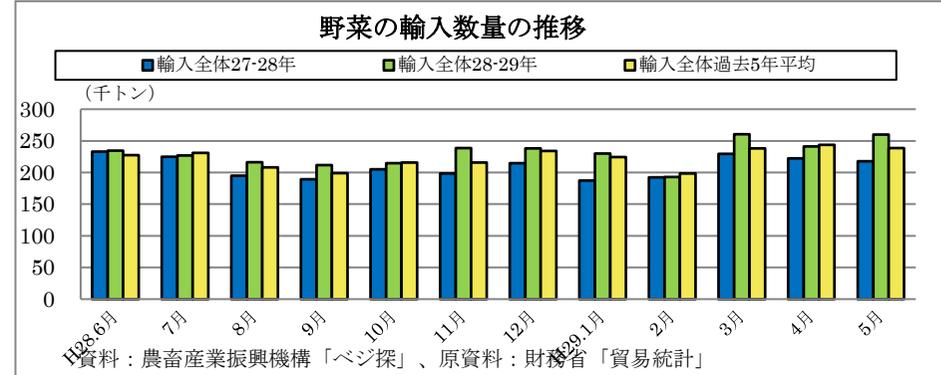
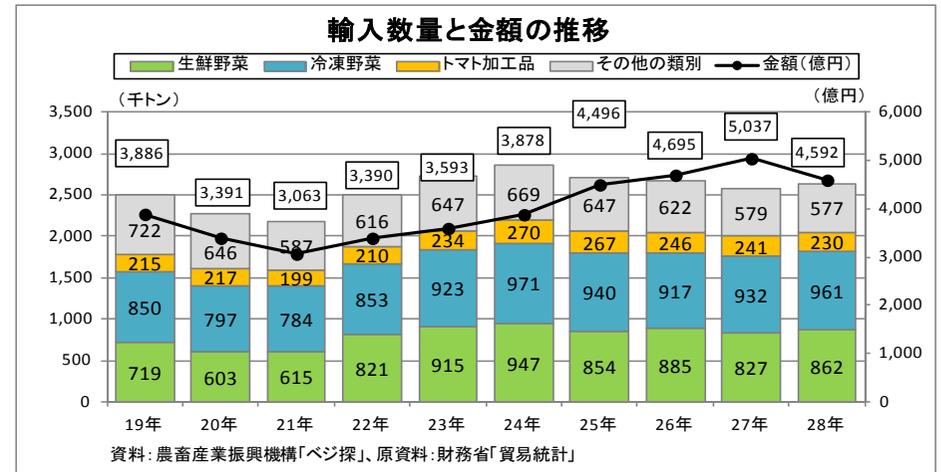


### 3. 輸入の動向

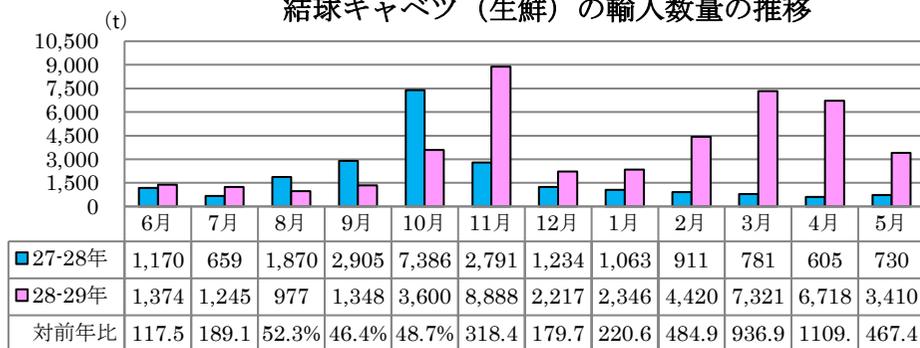
- 野菜の輸入数量と金額の推移を見ると、輸入数量については、平成24年以降減少傾向で推移していたが、平成28年は、天候不順の影響等により国内産の出荷数量が減少したため、前年比2%増の263万トン（+52千トン）となった。

輸入金額については、円安等による輸入価格の上昇により過去最高だった平成27年に比べ、平成28年は、円高傾向となったこともあり、前年比9%減の4,592億円（▲445億円）となった。

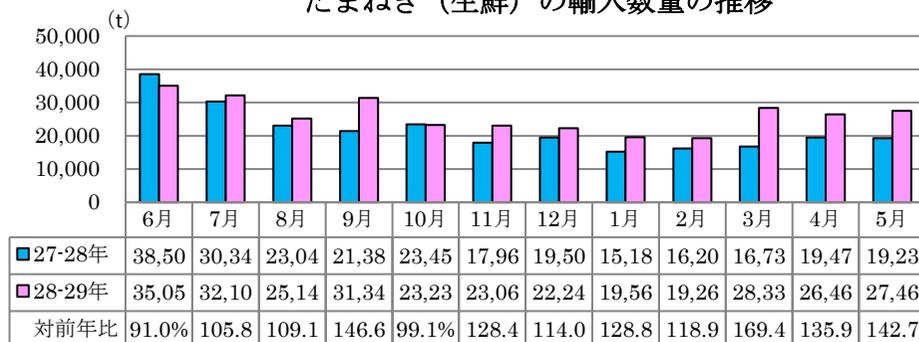
- 野菜の輸入数量の推移について見ると、6月以降、国内需要の高まりによる冷凍ばれいしょ等の輸入量の増加や、天候不順による国内産の出荷数量の減少による生鮮野菜の輸入量の増加により12カ月連続で前年を上回った。
- 生鮮野菜の輸入数量の推移を見ると、8月は佐賀県産等のたまねぎのべト病の影響、9月から2月は長雨・日照不足等の影響により国内産の主要野菜が全般的に出荷数量が減少したこと、3月以降は愛知産のキャベツ等が干ばつや低温で出荷数量が減少したことから、それぞれ前年を上回った。
- 冷凍野菜の輸入数量の推移を見ると、6月以降（2月は除く）ファストフードを中心に冷凍ばれいしょ等に対する需要が堅調であることに加え、特に9月から2月は長雨・日照不足等の影響で国内産の出荷数量が減少したこともあり、前年を上回った。



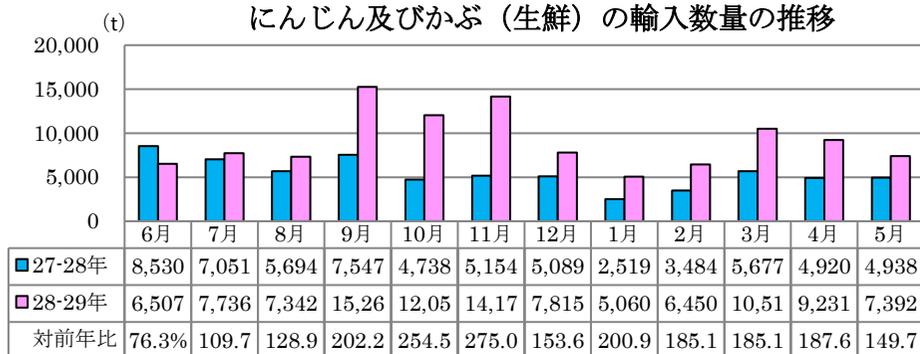
結球キャベツ（生鮮）の輸入数量の推移



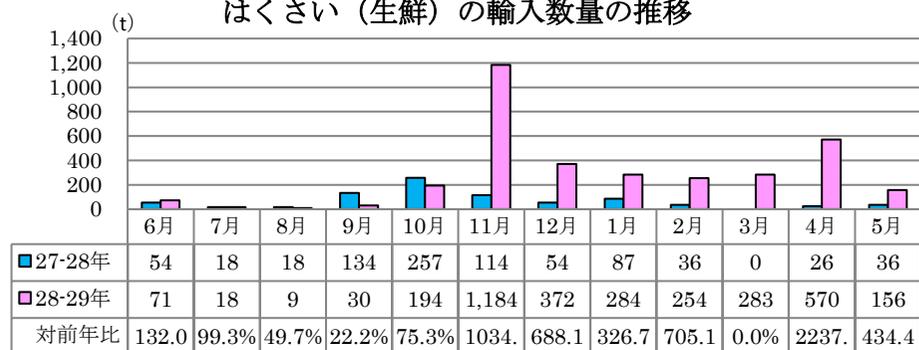
たまねぎ（生鮮）の輸入数量の推移



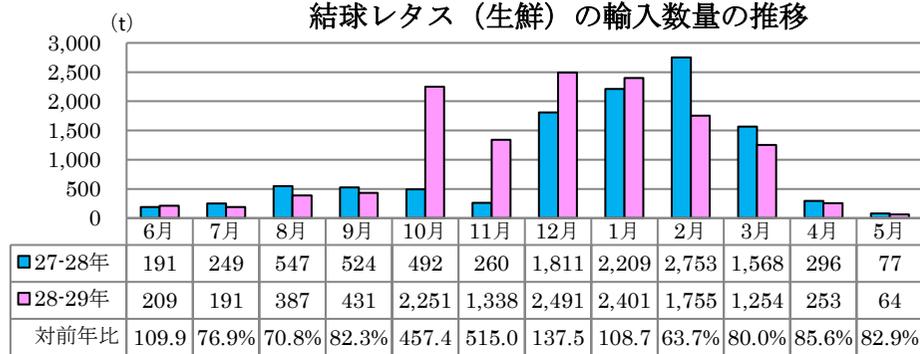
にんじん及びかぶ（生鮮）の輸入数量の推移



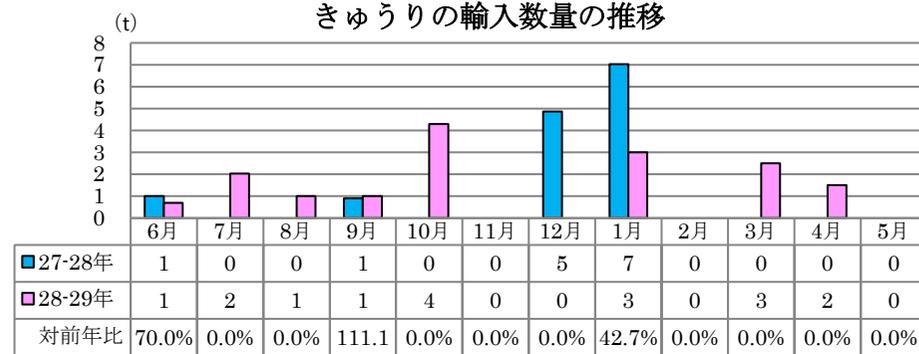
はくさい（生鮮）の輸入数量の推移

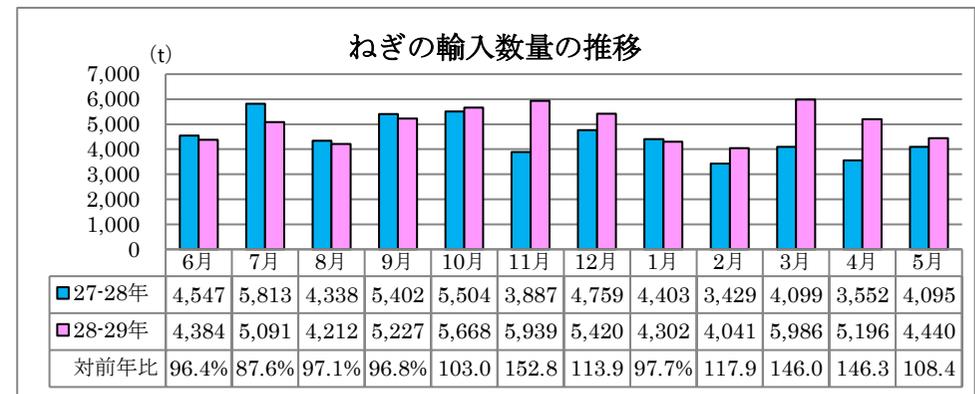
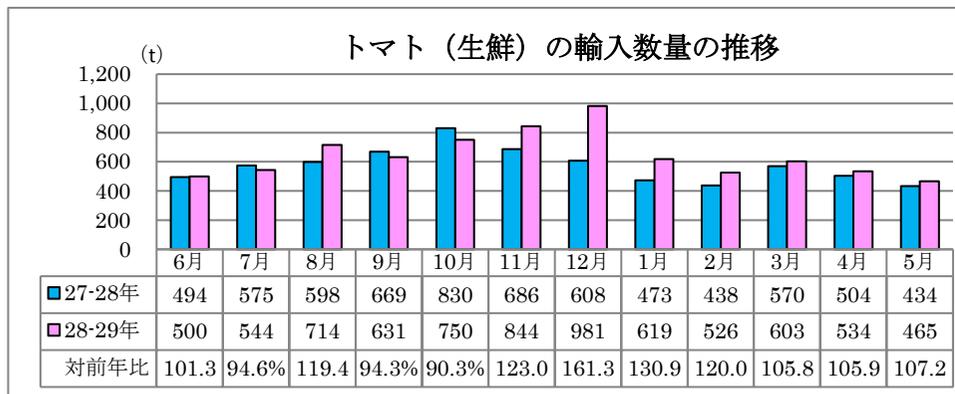


結球レタス（生鮮）の輸入数量の推移



きゅうりの輸入数量の推移





資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：財務省「貿易統計」

平成28年産夏秋春野菜主要品目の主産県別生産・出荷等

資料：農林水産省「作物統計(野菜)」  
平成29年4月25日公表

○ 夏秋キャベツ

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	10,200	4,650	474,300	429,700	100.0
1	群 馬	3,600	6,970	250,900	235,100	54.7%
2	長 野	1,370	4,390	60,100	53,900	12.5%
3	北 海 道	827	4,080	33,700	30,800	7.2%
4	岩 手	700	3,840	26,900	24,100	5.6%
5	茨 城	524	3,800	19,900	18,500	4.3%
6	熊 本	520	2,270	11,800	11,100	2.6%
7	青 森	357	3,750	13,400	11,900	2.8%
8	秋 田	274	2,150	5,890	3,190	0.7%
9	大 分	219	2,330	5,100	4,640	1.1%
10	新 潟	210	2,240	4,700	3,090	0.7%

○ 夏だいこん

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	6,240	3,800	237,200	216,300	100.0%
1	北 海 道	2,470	4,440	109,700	103,100	47.7%
2	青 森	1,610	4,140	66,700	61,000	28.2%
3	岩 手	334	3,230	10,800	9,520	4.4%
4	群 馬	279	3,840	10,700	9,700	4.5%
5	長 野	220	2,410	5,300	4,370	2.0%
6	熊 本	199	1,600	3,180	2,740	1.3%
7	岐 阜	146	5,390	7,870	7,330	3.4%
8	秋 田	91	3,430	3,120	2,690	1.2%
9	岡 山	86	3,820	3,280	2,890	1.3%
10	宮 城	80	1,160	931	614	0.3%

○ たまねぎ

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	25,800	4,820	1,243,000	1,107,000	100.0%
1	北 海 道	14,300	5,900	843,700	783,000	70.7%
2	佐 賀	2,580	3,260	84,100	74,500	6.7%
3	兵 庫	1,720	5,060	87,000	78,000	7.0%
4	長 崎	823	3,000	24,700	22,300	2.0%
5	愛 知	609	5,230	31,900	28,300	2.6%
6	熊 本	329	3,170	10,400	8,770	0.8%
7	静 岡	311	3,800	11,800	10,600	1.0%
8	愛 媛	298	3,200	9,540	7,150	0.6%
9	群 馬	255	4,550	11,600	9,870	0.9%
10	新 潟	249	2,220	5,530	3,050	0.3%

○ 秋にんじん

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	5,580	2,810	156,800	142,200	100.0%
1	北 海 道	4,590	3,030	139,100	129,400	91.0%
2	青 森	316	2,530	7,990	7,380	5.2%
3	岩 手	109	1,560	1,700	871	0.6%
4	長 野	106	1,440	1,530	318	0.2%
5	新 潟	70	2,290	1,600	1,300	0.9%
6	秋 田	63	1,080	680	264	0.2%
7	山 形	63	1,150	722	361	0.3%
8	茨 城	27	1,620	437	182	0.1%
9	熊 本	21	2,790	586	534	0.4%
10	栃 木	20	1,320	264	190	0.1%

○ 夏はくさい

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	2,490	7,270	181,100	158,400	100.0%
1	長 野	1,790	8,710	155,900	136,300	86.0%
2	北 海 道	290	3,650	10,600	9,610	6.1%
3	群 馬	202	4,780	9,660	8,600	5.4%
4	青 森	49	2,610	1,280	1,030	0.7%
5	岩 手	36	2,180	785	565	0.4%
6	山 梨	21	2,730	573	500	0.3%
7	熊 本	21	3,280	689	656	0.4%
8	埼 玉	10	3,080	308	215	0.1%
9	秋 田	9	2,010	181	101	0.1%
10	福 島	9	1,360	122	100	0.1%

○ 夏秋レタス

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	9,220	3,040	280,600	270,800	100.0%
1	長 野	5,490	3,380	185,600	182,100	67.2%
2	群 馬	1,110	4,000	44,400	42,500	15.7%
3	茨 城	733	2,120	15,500	15,000	5.5%
4	北 海 道	440	2,100	9,240	8,450	3.1%
5	岩 手	377	2,310	8,710	7,850	2.9%
6	福 岡	139	1,430	1,990	1,890	0.7%
7	青 森	105	2,130	2,240	2,000	0.7%
8	福 島	83	1,630	1,350	1,070	0.4%
9	千 葉	71	1,540	1,090	987	0.4%
10	山 梨	71	2,050	1,460	1,360	0.5%

○ 夏秋きゅうり

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	8,060	3,190	256,900	196,600	100.0%
1	福 島	599	5,470	32,800	29,100	14.8%
2	群 馬	558	3,260	18,200	15,300	7.8%
3	新 潟	429	1,780	7,640	3,370	1.7%
4	茨 城	372	2,700	10,000	7,650	3.9%
5	長 野	368	3,530	13,000	8,460	4.3%
6	宮 城	357	2,100	7,500	5,250	2.7%
7	山 形	355	3,580	12,700	9,110	4.6%
8	埼 玉	350	4,050	14,200	12,400	6.3%
9	千 葉	278	3,040	8,450	6,040	3.1%
10	秋 田	267	3,190	8,520	6,060	3.1%

○ 夏秋トマト

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	8,100	4,230	342,300	290,100	100.0%
1	茨 城	790	4,570	36,100	33,400	11.5%
2	北 海 道	764	6,660	50,900	46,500	16.0%
3	千 葉	511	3,450	17,600	15,100	5.2%
4	熊 本	428	5,860	25,100	23,800	8.2%
5	青 森	378	4,360	16,500	14,600	5.0%
6	新 潟	375	2,420	9,080	5,600	1.9%
7	長 野	354	5,010	17,700	14,300	4.9%
8	福 島	339	6,060	20,500	18,300	6.3%
9	岐 阜	269	7,180	19,300	17,500	6.0%
10	秋 田	241	3,240	7,810	5,520	1.9%

○ 夏ねぎ

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	5,000	1,810	90,500	79,000	100.0%
1	茨 城	684	2,250	15,400	14,000	17.7%
2	北 海 道	414	2,940	12,200	11,100	14.1%
3	埼 玉	289	2,090	6,040	4,980	6.3%
4	千 葉	286	2,510	7,180	6,490	8.2%
5	大 分	235	1,220	2,870	2,650	3.4%
6	青 森	218	2,340	5,100	4,430	5.6%
7	鳥 取	188	1,210	2,270	2,140	2.7%
8	新 潟	169	1,420	2,400	1,770	2.2%
9	秋 田	166	2,060	3,420	3,130	4.0%
10	福 岡	160	973	1,560	1,440	1.8%

## 5. 今後の気象予報

### 1ヶ月（7月1日～7月30日）予報に見る確率

	平均気温（1週目）7/1～7	平均気温（2週目）7/8～14	平均気温（3～4週目）7/15～28
北日本	低 10% 並 20% 高 70% 高い	低 10% 並 20% 高 70% 高い	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み
東日本	低 10% 並 20% 高 70% 高い	低 10% 並 30% 高 60% 高い	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	低 10% 並 20% 高 70% 高い	低 10% 並 30% 高 60% 高い	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20% 並 50% 高 30% 平年並 の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側	低 10% 並 20% 高 70% 高い 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か高い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側	高い 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
東日本	日本海側	低 10% 並 30% 高 60% 高い 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か高い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側	高い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か高い 見込み
西日本	日本海側	低 10% 並 40% 高 50% 高い 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	高い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か高い 見込み
沖縄・奄美		低 20% 並 50% 高 30% 平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み

注：「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較（以下同じ。）

出典：「全般1ヶ月予報解説資料」（平成29年6月29日発表 気象庁地球環境・海洋部）

◎3ヶ月（7月～9月）予報に見る確率

	平均気温 7月	平均気温 8月	平均気温 9月
北日本	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み
東日本	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み
西日本	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み
沖縄・奄美	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み

		降水量 7月	降水量 8月	降水量 9月
北日本	日本海側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み
	太平洋側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み
東日本	日本海側	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み
	太平洋側	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み
西日本	日本海側	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美		少 40% 並 30% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み

出典：「全般3ヶ月予報（7月～9月）解説資料」（平成29年6月23日発表 気象庁地球環境・海洋部）